

昨年の総会シンポジウムに引き続き、本年度も総会シンポジウム2日目には3つの興味深いテーマの分科会を設けました。

第1分科会では、本研究所の基幹研究会の一つである次世代生協研究会から、「若年層と創る未来の協同社会—産直・倫理的商品・組合員参加を事例に組合員のニーズを探る—」と題して、研究会のメンバーからの研究報告とコメントをいただきました。

第2分科会「購買生協は高齢期の生活を支えられるか?—『生協10の基本ケア』を合言葉にして—」では、「生協10の基本ケア」を切り口に、生協そのものが提示しうるこれからの社会にとっての価値とは何かをグループディスカッションも含めて議論しています。

第3分科会は、この間継続して設けている生協と取引先シリーズの一環として、「ロングセラーコープ商品から考える次のロングセラー」をテーマに開催しました。昨年60周年を迎えたコープ商品のなかには、多くのロングセラー商品が存在します。そうしたロングセラー商品を開発・生産している企業から報告をいただきました。

いずれの分科会も、対面とリモートを併用したハイブリッド形式で開催しましたが、開始直前になって音響機器や回線等の複数のトラブルが相次ぎ、とくにリモート参加者にご迷惑をおかけしてしまいました。分科会の内容はいずれも充実したものであり、またリモートゆえに遠方からも昨年に引き続き多数ご参加いただけたという成果があったからこそ、一連の運営上の不備は大きな反省点となりました。

今回、誌面という形にはなりますが、改めて報告や議論をご確認いただき、それぞれの現場や研究でご活用いただければと思います。

(『くらしと協同』編集長 加賀美太記)

分科会で報告・コメントをいただいた方々

第1分科会



鬼頭 弥生



松原 拓也



玉置 了



岩橋 涼



加賀美 太記

第2分科会



浮網 佳苗



山野 薫



小田 史



浜岡 政好

第3分科会



寺岡 謙将



豊田 滋之



塩谷 元彦